

平成 25 年 10 月吉日

施設長
団体長 各位

大分県立看護科学大学
准教授 平野 互

学習会「地域臨床倫理の可能性」のご案内

拝啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より、私どもの研究活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

医療現場で生じる様々な倫理的問題の解決のために、「臨床倫理」が重要性を増していますが、大分県のような中小病院の多い地域で、医療の倫理的課題を解決するためには、地域全体で解決の方策を考える必要があると思われまます。私は、この大分県で市民と医療者が対話を重ね、よりよい医療を実現するための方策を考えるために、平成 22 年度から日本学術振興会科学研究費の補助を受け、「患者の権利保障のための地域臨床コンサルテーション・システムの確立に関する研究」と題する研究を続けて参りました。

この研究も終了年度となり、これまでの研究概要をご報告するとともに、患者と医療者の対話に基づく「臨床倫理」をこれから大分県で展開するための方策について、関係者の皆様と意見を交換する機会を持ちたいと存じます。

このたび、「大分県医療コンフリクト・マネジメント研究会」のご賛同をいただき、別紙の通り学習会を開催することにいたしましたので、関係各位の皆様のご参加と関係各所へのご紹介の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

別紙

学習会「地域臨床倫理の可能性」

日時 11月24日（日） 13：00～16：00

場所 大分県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」 大会議室

予定参加人数 50名

当日の予定

1. 趣旨説明
2. 「患者の権利保障のための地域臨床コンサルテーション・システムの確立に関する研究」概要報告
3. 情報提供「医療対話推進者の業務指針および研修プログラム作成指針」

休憩

4. 構想「苦情解決から倫理的課題の解決へ」提案
5. 討論「大分県における地域臨床倫理の可能性」